



14時 文部科学省同時発表  
岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和5年10月12日（木）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化伝承課	記念物保護係	小野木 学	内線 3146
		苅谷 菜々子	直通 058-272-8759
		棚橋 寿至	FAX 058-278-2824
飛驒市教育委員会 文化振興課	文化係	三好 清超	直通 0577-73-7496
		大下 永	FAX 0577-73-7497
白川村教育委員会	文化財係	松本 継太 章 璐	直通 05769-5-2180 FAX 05769-5-0016

## 文化財の新規指定及び追加指定について

文化庁の文化審議会（会長 佐藤 信 氏）は、10月20日（金）に開催される文化審議会において、国史跡及び国名勝の新規指定と国史跡の追加指定等を文部科学大臣に答申する予定です。今回の答申には国史跡の新規指定として飛驒市に所在する「姉小路氏城跡」、国名勝の新規指定として白川村に所在する「白水滝」、国史跡の追加指定として飛驒市に所在する史跡「江馬氏城館跡」が挙がっています。今回の指定により、県内における国史跡の件数は29件に、名勝の件数は6件になります。

記

新規・追加	文化財の種類	文化財の名称	文化財の場所
新規	史跡	あねがこうじししろあと 姉小路氏城跡	岐阜県飛驒市古川町高野字城山1861番地1 外120筆等
新規	名勝	しらみずのたき 白水滝	岐阜県大野郡白川村大字平瀬字白水谷地内
追加	史跡	えましじょうかんあと 江馬氏城館跡	岐阜県飛驒市神岡町吉田字宮ヶ洞3086番地 外58筆（追加指定対象地）

## 姉小路氏城跡

ふるかわじょうあと こじまじょうあと のぐちじょうあと むかいこじまじょうあと こたかりじょうあと  
古川城跡 小島城跡 野口城跡 向小島城跡 小鷹利城跡

- ・年代：室町時代
- ・所有者：飛驒市 他
- ・面積：857,234.61m<sup>2</sup>
- ・概要：

姉小路氏城跡は飛驒国司の姉小路氏の居城・居館と伝わり、古川盆地を取り囲む山上に位置し街道や盆地を掌握しやすい場所にある。姉小路氏に代わり三木氏、次いで金森氏が古川盆地を治めるようになってからも、これらの城館群が改修を重ね継続的に使用される。良好な遺構の残存状況に加え、山城の構造の変遷から飛驒地域の歴史の変遷を読み解くことができる史跡である。

## 白水滝

- ・所有者：農林水産省林野庁長官
- ・面積：145,074.00m<sup>2</sup>
- ・概要：

白山山頂の御前峰より東南東に5km、標高1200m付近に位置する。真っ白な水しぶきをあげ、轟音を響かせる滝の姿は、大<sup>おお</sup>白川のブナ原生林によく映える。また、約2200年前の新白山火山の溶岩流により形成され、柱状節理の発達した高さ67.4mの直瀑<sup>ちよくぼく</sup>という特徴的な構造をもつ。近世末には白水滝の存在が広く知られていることが、「山分衣<sup>やまわけごろも</sup>」の記述によりわかっているほか、近代から昭和中期には小島鳥水や辻村太郎といった著名人等が国内外に関わらず滝を訪れ称賛し、日光の華巖瀑<sup>けごんばく</sup>、くまのなちのおおたきと並ぶ名勝地と称されている。

## 江馬氏城館跡

しもやかたあと たかはらすわじょうあと どじょうあと てらばやしじょうあと まさもとじょうあと ほらじょうあと いしがみじょうあと からかまつじょうあと  
下館跡 高原諏訪城跡 土城跡 寺林城跡 政元城跡 洞城跡 石神城跡 傘松城跡

- ・年代：室町時代
- ・所有者：飛驒市 他
- ・面積：10,714,037.47m<sup>2</sup> (内追加面積466,271.34m<sup>2</sup>)
- ・概要：

江馬氏城館跡は居館であった下館跡と6つの山城が既指定の史跡である。傘松城跡も江馬氏関連の城館として歴史的価値が高いとして、この度追加指定の対象となった。江馬氏とは鎌倉時代から安土桃山時代に至るまで飛驒に所領を持った一族である。傘松城は周辺の城館や街道・集落を見下ろす位置にあり街道付近であることから、領域支配の拠点的な役割を担っていた。



姉小路氏城跡（小島城石垣）



姉小路氏城跡（古川城跡 礎石建物）



白水滝（初夏の様子）



白水滝（早秋の様子）



傘松城（遠景）



傘松城（主郭部）